

もっと、読んでいたい!

火葬場という白黒の空間で出会ったふたりが、
春夏秋冬、色彩豊かな旅を通して変わっていく。

それぞれが抱える生きづらさに共感したり、やりとりを
楽しんだり。終盤は泣きながら読んでいました……!

とても好きで、たくさんの人に読んでほしいです。

『ふたりの窓の外』 深沢仁

営業部 K.Y.

東京創元社

